

令和6年度 松井小学校 学校評価シート

学校教育目標		本年度の重点目標	
自分大好き 友だち大好き 笑顔とあいさつのあふれる松井小学校 ～あいさつができ たくましく伸びる 松井っ子～		1 深い学びへとつながる対話的な授業の創造 2 笑顔であいさつができる子の育成 3 自分も相手も大切にする 思いやりの心あふれる子の育成	保護者学校満足度：3. 65（4段階評価:A）

学校自己評価				
【 A:達成している(3.2以上) B:おおむね達成している(2.8以上) C:あまり達成していない(2.4以上) D:達成していない(2.4未満) 】				
観点	教職員評価	取組(達成)の状況	評価	総合評価
確かな学力の育成	学習規律の徹底	家庭学習習慣の定着に向けて、学年ごとに宿題の分量や内容を把握しながら課題にするよう心掛けた。また課題の点検は毎日行うようにしている。教員の資質向上に向け、年間30回以上の校内研修を実施した。読書活動推進には、3年生以上にも図書室活用の授業を導入し、図書館アドバイザーやお話しサークル、図書ボランティアによる読み聞かせ会等を開催するなど学校あげて強化に取り組んだ。	3.6	A
	基礎学力の向上の取組		4.0	
	よりよい授業の展開		3.7	
	家庭学習習慣の定着		3.6	
	読書活動の充実		3.3	
豊かな心の育成	道徳実践力の育成	毎月1週目の月曜日にいのちと人権の集会を実施している。全教員が関わり、人権講話を実施している。あいさつの活性化に向けては、児童会を中心に朝の立ち番などを行い、あいさつ運動を展開した。	3.3	A
	教育活動全体を通した指導		3.5	
	道徳実践の表出		3.2	
	あいさつ運動の取組		3.2	
健やかな体の育成 (体育)	基本的生活習慣の定着	多可町体力向上委員会とも連携し、新体力テストの結果をもとに子どもたちの体力や運動能力の実態把握に努めている。また、運動会やマラソン大会、かけ足訓練、縄跳び運動週間等学校行事や陸上競技大会や駅伝での取り組みを通してテーマや目標をもって取り組んでいる。	3.4	A
	体育の授業を通した体力・運動能力の向上		3.3	
	体育的活動や行事を通した体力・運動能力の向上		3.7	
健やかな体の育成 (保健)	適切なケガの処置や対応	伝染病の拡大防止を常に心掛け、欠席や体調不良、地域の感染等の把握と適切な対応を心掛けている。関係機関とも連携し、適切な引き渡し下校や学級閉鎖の判断ができた。ケガが発生した際は養護教諭を中心に関係する教職員の組織的な対応ができ、速やかに保護者や救急搬送により病院につなぐことができていた。給食センターの残食調査では、町内で一番残食が少ない学校となっている。	3.9	A
	適切な給食指導		3.7	
	適切な食育指導		3.5	
	健康増進のための家庭への呼びかけ		3.7	
学級経営の充実	学級経営案を生かした学級経営	全学級で学級経営案を作成している。学期の終わりに低・中・高学年に分かれて定期的に内容の共通理解と指導内容の検証をし、学級経営向上に努めている。年2回のストレスチェックに基づく全員面談や日頃からの児童観察により、児童理解・実態把握に努めている。	3.5	A
	好ましい学級集団の形成		3.6	
	児童理解・実態把握		3.9	
いじめに対する 取組・指導	いじめの未然防止・早期発見	年度当初に、いじめの定義や初期対応の重要性を職員研修で共通理解を図った。また、いじめアンケート(学校生活相談シート)を児童用を年間5回、保護者用を年間3回実施して、いじめの未然防止・早期発見に努めた。さらに、問題行動発生時には、組織的にかつ迅速に対応したことにより、大きな問題に発展することがなかった。	3.9	A
	適切な指導		3.8	
	いじめをしない心情・態度の育成		3.7	
特別支援教育の充実	いじめを許さない心情・態度の育成	サポートファイルや個別の指導計画や支援計画をもとに、子どもたちの支援について保護者と十分な共通理解を図りながら進めるよう心掛けている。また、子どもたちの成長につながる適切な合理的配慮となるよう、全教職員で共通理解をしながら特別支援教育活動を推進している。	3.5	3.7
	保護者との共通理解		3.8	
	個別の指導・支援計画と合理的配慮の適切な実施		3.6	
防災・安全教育の 充実	目的に沿った交流学習の展開	交通安全教室は、学校周辺の道路にて保護者の協力を得ながら、交通事故防止に有効な取組となった。避難訓練は、水害、火災、地震の3種を想定した訓練を通じ、自分の命は自分で守る意識の醸成に役立っている。校内安全点検も確実に実施できている。	3.5	A
	適切な防災・安全指導		3.8	
	安全な生活習慣の定着		3.4	
キャリア教育の推進	校内安全点検の実施	異学年交流の機会を大切にしている。上級生のリーダー性を高めるとともに、社会性の育成を心掛けている。学級や児童会、委員会活動に役割意識をもたせ、自己有用感の醸成に努めた。	3.8	A
	身につけさせたい能力・技能を意識した指導		3.9	
	役割や責任を持たせた適切な指導		3.8	
ふるさと多可町を愛する 子どもの育成	ふるさと教育の推進	生活科や総合的な学習の時間を中心に、ふるさと多可町を知る学習を展開した。2年生の町探検や3年生の環境学習、4年生の福祉学習など、地域の人々との関わり合いを大切にしている。杉原紙を使った木版画づくりや杉原紙卒業証書づくりにも取り組んだ。	3.1	B
環境美化	児童の美化意識の向上	時を守り、場を清め、礼を尽くすという「凡事徹底」について全校朝会で話をした。概ね熱心に掃除活動ができている。校内の環境美化は職員作業やボランティア作業で取り組めた。	3.4	A
	校内の環境美化		3.1	
組織力・チーム力の 向上	学校経営方針の周知と同一方向への推進	教育活動を進めるに当たって、職員会議や職員打合せ、校務支援システムの掲示板により教職員の共通理解を図って推進できている。	3.8	A
	全教職員の共通理解のもと教育活動の推進		3.7	
開かれた学校・信頼される 学校づくり	学校情報の発信	学校だよりの毎月発行、ホームページの週3回以上の更新、学校メールにより情報発信に努めた。児童に関する情報は、即日に保護者連絡を入れている。保護者からの要望にも、素早い対応を心がけた。	3.8	A
	保護者への連絡		4.0	
	保護者・地域の要望への適切な対応		3.8	
教職員の資質向上	よりよい授業づくりのための教材研究	教員は全員、授業公開をして授業力向上に努めている。また、年間30回以上の校内研修は、指導に役立つ内容を多岐にわたり扱った。	3.9	A
	指導力向上に役立つ研修内容		3.9	
教職員の心身の健康 保持	勤務の適正化と定時退勤日の実施	毎週木曜を定時退勤日とし、勤務時間を意識した働きとなるよう呼びかけている。お互いの業務に協力的であり声かけも活発に交わされているため、職員室は風通しのよい雰囲気を保っている。	3.5	A
	適正な校務分掌の振り分けと協働体制		3.4	
	何でも話し合える職員室の雰囲気づくり		3.7	

保護者評価						学校関係者評価	
【 A:達成している(3.2以上) B:おおむね達成している(2.8以上) C:あまり達成していない(2.4以上) D:達成していない(2.4未満) 】							
	保護者設問	R4 評価	R5 評価	R6 評価	総合 評価	課題と改善方策	学校自己評価及び改善方策の適正さの評価
1	学校は、児童の学習規律の定着に向けて取り組んでいる。	3.585	3.42	3.66	A	どの学年もとても落ち着いた雰囲気です学習しているが、子どもたちの理解力や課題はそれぞれである。担任と学習支援の先生と常に情報を共有しながら連携を図る必要がある。昨年から取り組んでいる「読解力トレーニング」を今後も継続し、子どもたちの「読むこと」への抵抗感を軽減し、読書活動の充実に繋げていきたい。	学習の柱は規律だと思う。褒めることと同時に叱ることも大切なので、バランスを大切にしつつ指導を進めてほしい。 保護者は、参観日やオープンスクールだけで評価するのは難しいかもしれない。
2	学校は、わかりやすく児童が楽しく意欲的に参加できる授業づくりに向けて取り組んでいる。	3.69	3.51	3.69	A	校内では、全学級が授業研究会で授業公開をしている。6年生の全国学力学習状況調査や2学期に実施する多可町内共通テストでの結果をもとに個々の課題を把握した上で指導に生かしていく。引き続き多可町内全小中学校で取り組んでいる「学力向上スタンダード」を意識した授業となるよう研鑽を積んでいきたい。	教員の意識も高く、研修をたくさんされていることはすばらしい。お互いを高め合う研修はとても大切だと思う。子どもたちも落ち着いており、よく鍛えられている。ただ、勤務がブラックにならないように、先生方が潰れないようにしてほしい。
3	学校は、家庭学習習慣の定着に向けて取り組んでいる。	3.54	3.35	3.53	A	学校では、学力の定着を図るために宿題等で家庭で学習する時間を取るよう働きかけている。その頻度や内容、分量については、しっかりと把握し、過度な分量とならない配慮が必要である。また、学習の進め方については、家庭の協力を得ることができるよう、学校だよりや学年だより等を通じて丁寧な案内が必要だと考える。	配布物をきちんと持って帰り、家でちゃんと出すということも大切な習慣の1つである。余裕をもってプリントを配布し、綺麗な状態で持って帰らせるように声かけして欲しい。また、家で保護者が配布物がいないか声かけすることも大切である。それが親子間のコミュニケーションにもなる。
4	学校は、児童観察やアンケート調査等により児童理解・実態把握に努めている。	3.45	3.33	3.61	A	いじめアンケートやストレスチェックなど、子どもたちの困り感や状況を把握することができるよう、引き続き丁寧にに取り組んでいきたい。また、保護者にも協力をいただき、「困ったことをすぐに教えてもらえる学校」であるよう呼びかけていく。	学校だよりの返信を保護者だけでなく、運営委員や地域の方にもいただくと尚良い。
5	学校は、「いじめ・嫌がらせ・トラブル」等の問題やお子様の悩みごとに対して、適切な対応・指導を行っている。	3.48	3.28	3.63	A	学校生活の中では、他者との関わりの中で「トラブル」になることは必ず起こるものである。全教職員が些細なことでも「いじめ」となることを意識し、丁寧に子どもたちの様子を見守ると共に、トラブルを通して「子どもたちを育てる」という強い信念をもち指導することができるよう、学校長のリーダーシップを発揮する。	子どもたちは大きくなるにつれ、個人名を出して訴えるのを嫌がる傾向がある。トラブルがあった際、名前を出さずに一般的な事例として授業や学活の中で指導してもらったことがあり、ありがたかった。些細なことや解決したことでも、学校に連絡することで、保護者と学校のつながりが強くなる。
6	学校で実施される活動や行事は、子どもたちの良き成長につながっている。	3.8	3.72	3.7	A	学校行事については、コロナ禍以前とは実施方法に大きく変容した物もある。環境の問題や運営方法の改善等、考慮すべき事はたくさんあるが、「活動や行事を通して子どもたちに何を学ばせるのか」を常に意識して、充実した取り組みとなるよう心掛けていく。	児童数が少ない中でも、陸上や駅伝の大会にたくさんの子ども達が出ていることはすばらしい。行事が精選される中ではあるが、その中で松井小としての色を出して取組を進めていってほしい。
7	学校は、児童のけがの対応を的確に行っている。	3.75	3.65	3.69	A	ケガをした場合、「頭から上」のケガについては速やかに医療機関につなぐよう心掛けた。また、できる限り速やかに家庭への連絡をしている。ケガについては、「未然に防ぐ」をこれまで以上に意識しなければならない。ピロティで激しく遊ぶといったことについては、安全な生活の仕方を徹底して指導していきたい。また、教師の安全への目も必要だと考える。	ピロティでのケガが増えているようなので、遊び方に十分気をつけて過ごしてほしい。
8	学校は、児童の健康増進を図るため保健だより等を通じて家庭への呼びかけや啓発活動を行っている。	3.72	3.59	3.73	A	今後も児童に対して保健室前の掲示板、保護者に対しては保健だよりを通して健康増進につながる呼びかけをしていく。来年度も発育測定や各種検診を予定しているが、医療機関の受診の動機については、未受診の数が少しでも減るよう、保健だよりや学校だよりを通して繰り返し呼びかけていく。	学校保健委員会はとても有意義な会なので、参加する機会があれば是非参加していただきたい。また、学校側はその内容を学校だよりなどで報告していくと良い。 「人につさない」行動を自らできるようにしてほしい。 ただ、過度に意識しすぎないように配慮する必要がある。
9	学校は、オープンスクール、各種たよりやホームページ等を通じて、学校や児童の様子を情報提供している。	3.69	3.62	3.63	A	引き続き開かれた学校づくりを意識して、学校だよりやホームページを通じて学校の様子を発信していく。	オープンスクールなどに、保護者以外の地域の方や運営委員が参加できるよう、声かけしてもらえるとありがたい。
10	お子様のことについて学校で何かあったときには、学校から保護者(家庭)への連絡がきちんとされている。	3.79	3.61	3.73	A	ケガをした場合は必ずご連絡するようになっている。子どもどうしのケガやトラブルについては、被害だけではなく加害にかかわる子どもも家庭にもしっかりと連絡する様になっている。保護者の仕事等、連絡がつきにくい場合もあるが、今後も家庭との連絡を丁寧にしっかりと行う。	丁寧に連絡していただいている。継続して取組を進めてほしい。
11	松井小学校の教育活動に満足している。	3.72	3.58	3.65	A	満足度については例年高い評価をいただいている。ただ、高い評価で安心するのではなく、ご意見をいただいた内容についてしっかりと傾聴し、子どもたちの安全や成長につながるご意見については、「できることをやっていく」という今年度のスタンスを継続していきたい。ご意見をしっかりと反映し、子ども・家庭・教職員が「笑顔」になるような学校運営をしていく。	様々な理由でお休みをされる先生がおられることは十分に理解できる。そのフォローを他の先生方がしてくださっているようなので、引き続きよろしく願いたい。 中学校の統合をひかえ、外からの力に耐えられる力をつけてもらいたい。

※評価の数値は、教職員の4段階評価(4・3・2・1)の平均値を表示している。